



平成二十九年度春の特別展

七ヶ宿ダム湖に沈んだ

小梁川・大梁川 遺跡展

～時空を越えて縄文文化が語りかけるものとは～



深鉢形土器

口径 50.7 cm、器高 68.7 cm の今から約 5,000 年前の縄文中期中葉の東北地方南部を代表する土器です。口縁部には鶏頭冠が付された四つの大型把手が配され、胴部は方形区画のなかに渦巻文が施されています。底部は故意にうち欠かれ、横位に埋設されていたことから、墓の棺に用いられたものと考えられます。

(東北歴史博物館蔵)



期間

平成29年

4月25日(木)～6月25日(日)

場所

七ヶ宿町水と歴史の館特別展示室



七ヶ宿町水と歴史の館

宮城県刈田郡七ヶ宿町字上野 8-1 (七ヶ宿ダム公園内)
TEL/FAX 0224-37-2739
E-mail : mizutorekishi@tiara.ocn.ne.jp

共催：東北歴史博物館

(開館時間) 9:30～16:30

(休館日) 毎週月曜日と祝日の翌日
(土・日曜日は除く)

(入館料) 一般 310円(240円)
高校生 200円(160円)
小・中学生 100円(80円)
※()内は20人以上の団体料金



